

駒沢史学

第 58 号

平成 14 年 3 月

葉貫磨哉先生追悼号

駒 沢 史 学 会

駒澤大学歴史学研究室内

KOMAZAWA SHIGAKU

JOURNAL OF HISTORICAL STUDIES

No. 58

March, 2002

Commemorative Volume of Prof. Masai HANUKI

Published By

KOMAZAWA SHIGAKUKAI

(THE HISTORICAL SOCIETY OF JAPAN)
THE HISTORICAL DEPARTMENT
OF KOMAZAWA UNIVERSITY
SETAGAYA-KU TOKYO

執筆者紹介

廣瀬良弘 駒澤大学文学部教授
 関恒久 平塚市役所
 倉井理恵 駒澤大学大学院研究生
 芥川龍男 法政大学名誉教授
 丸山雍成 九州大学名誉教授
 安本利正 万福寺住職
 阿部肇一 駒澤大学名誉教授
 倉田芳郎 駒澤大学名誉教授
 所理喜夫 駒澤大学名誉教授
 山崎文彦 平塚市立なでしこ小学校長
 北條文彦 駒澤大学講師
 瀧音能之 駒澤大学文学部助教
 大森正且 栃木県足利中央養護学校教諭
 伊藤恭子 墨田区教育委員会文化財指導員
 小松寿治 駒澤大学講師
 今野慶信 江東区教育委員会文化財専門員
 野尻かおる 荒川区ふるさと文化館専門員
 遠藤昭 横浜市歴史博物館学芸員
 西美香 フェリス女学院大学講師
 皆川義孝 駒澤大学開校百二十年史編纂室嘱託
 菅野洋介 駒澤大学大学院博士後期課程
 三浦浩樹 長谷寺宝物館学芸員
 仲田正之 静岡県立三島北高等学校教諭
 川上弘之 根室市立博物館開設準備室
 田中 駒澤大学図書館
 小林 駒澤大学高等学校教諭
 小田 千葉県文書館嘱託
 角田 朋彦

『駒沢史学』原稿募集要領

論文は四〇〇字詰原稿用紙で五〇枚程度、研究ノートは三〇枚程度、会員新刊紹介・書評は二〇枚程度。完全原稿で英文タイトルもお願いします。原稿のフロッピーディスクがあれば添付。採否はなるべく早く連絡します。

編集後記

葉貫磨哉先生が逝去されての一年は、あっという間でございました。先生がお元氣ならば本年度で御定年・御退職ということ、最終講義や記念論文集、記念会などが予定されておりました。まことに無念至極です。本号は先生の追悼号とさせていただきます。多くの方々から原稿を頂きましたこと、厚くお礼を申し上げます。先生の『駒沢史学』における最後の御原稿は五〇号（記念号）の「廿一世紀への期待」で、文中、かつて『駒沢史学』刊行に苦労されたことを述べられ、また新世紀にむけて本誌の益々の充実への期待と駒沢史学会の発展を冀っておられます。この御原稿は、私どもへの「熱いメッセージ」であり、改めて感慨深いものがございます。今後、私どもは先生の御遺志を継承しつつ、新たな駒沢史学会というものを考えながら、活動していくことになりましょう。葉貫磨哉先生のご冥福をお祈りいたします。（久保田・小松）

駒沢史学 (第五八号)

平成十四年三月二日発行

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢一―二三―一

駒沢大学歴史学研究室内

編集・発行

駒沢史学会

電話 03-3418-9272

振替 〇〇〇〇一六〇五六

印刷

〒232-0012 横浜市南区南吉田町四―四〇―二―一〇一

印刷

(有)玉田プリント

電話 045-253-1247